

※解答はすべて解答用紙に記入しなさい。問いに字数の指定がある場合は、句読点や記号も一字に数えて解答すること。

――次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

注(1) 長浜市に片野喜代士さんという方がいました。長年にわたって長浜市の中心街を流れる米川の清掃活動のリーダーとして活躍してきた方です。

片野さんのお宅は、道に面して玄関があつて、そして玄関の奥に米川が流れています。米川が家の敷地の中を流れているのです。つまり母屋があつて向こうの木戸側の真ん中に米川が流れています。

「ここでな、わしは子どもの時、窓からビワマスをつかんだんや」

「ナマズを石の間でつかみ、ゴリが黒いオビの数珠(1)になつて上つてくるのを見てきたんや。米川のこっち側も向こう側も自分の家や。自分の家の中を川が流れていて、その川が汚れるのは納得(2)できへんやろう。川が汚れるのは家が汚れるようなんなんや」

というのが片野さんの口ぐせでした。

私たちは、片野さんの川や自然に対する思いの深さにすっかり惚れ込んでしまい、毎週、長浜の町の歴史や米川と人びとのかかわりなどをうかがいに長浜通いをしました。一九八〇年代末頃(3)です。

ある時、その片野さんに地域環境アトラスの改良版、動くアトラスを見てもらつたのです。

「こんなふうに水質がどこがいいか悪いか一日でわかるデータをつくりました。この赤いところが汚濁負荷量の大きい河川(4)です」

と見てもらうと、片野さんはあまり興味をしめしてくれません。

「これは、わしらの感覺とは違(5)うなあ」

「それに米川はこんなにまつかになるほど汚(6)くはない。あんたたちは水量を計算に入れてないやろ。米川は湧き水も多く、雪解け水も多く、水量が多いんや」

「水質つていうのは二四時間違うもんや。わしらは、みんなで手分けして一日中、二四時間水質のデータをとつているけど、わしらの町では、真夜中の午前二時頃、一番水質が悪い。客が帰つてからいっせいに洗い物をするからや。けど、同じ米川でも郊外の住宅街では午前一〇時頃が一番汚い。それは、子どもを送りだした奥さんたちがいっせいに洗濯(7)するからや。そういうふうに同じ一日でもそれだけ水質は変わるために、それをなんや、あんたらこんな一枚のデータにしてしまつて」とすぐ怒(8)られてしまいました。

ショックでしたよ、片野さんからのことばは。

「こういうふうに三六五日、自分たちで集めたデータは愛着が湧くが、こんなパソコンのデータには愛着が湧かんな」と片野さんから厳しい指摘を受けたのです。

「データに愛着が湧かん」というのが、殺し文句でした。私たち、琵琶湖研究所の研究者が五年がかりでしあげたもので、「どうだ、先駆的な技術の地図データができあがつたぞ」と思いあがつていたのですが、みんなしょぼんとしてしまいました。

A、この時の「データへの愛着」という言葉から、新しい展開が始まるのです。いろいろ悩んだ結果、

「それやつたら、住民みんなでデータとつたらえんやろ」

「そこに住む人自身で、愛着あるデータをそれぞれが集めよう」という発想が生まれたのです。こうして生み出したのが一九八九年から始まった「水と文化研究会」です。

B、滋賀県内の水の環境を調べるために何のデータを集めればいいの?という時に、ファーリルドワークに行くとよく話に出てくるホタルがまずコウホにあがりました。それから、魚、水辺遊び、湧き水、トンボ、水害、といった一〇項目を考えたのです。それでみんなで調べたデータを地図に表して各データのアトラスをつくりました。これになりました。これは「ふえるアトラス」と名づけました。

「水と文化研究会」に参加してくれた人たちは、実は、私がもつてていた名前リストを使って参加を募ったのです。

国語問題題

(一〇枚のうちの二枚め)

それまでに私自身は、住民参加型のハクブツ館をつくるため各地で講演会をしてきました。そこで参加者のみなさんにお名前を書いてもらいました。その方たちは、結果的には、消費生活センターや生協関係、琵琶湖の環境を守るために石けん運動に取り組んできた方など、それでも地域をよくしようと行動してきていた人が多かったです。その方たちにいっせいに呼びかけたのです。

その中の一人、岡田玲子さんがまずホタルのことをやりたいといったのです。ホタルは、いかにもきれいな水に住んでいるというイメージが強すぎて当初、私は反対しましたが、京都大学（当時）の遊磨正秀さんから、「社会にはたいへんな誤解がある。ホタルは、深山幽谷の生き物ではない。きれいな水に住むと思われているがそうではない。ホタルは、田んぼと里に住んでいる（彼は明らかに里という表現を使いました）。山から水が流れてきて里にたどり着く。ホタルはその里に住む生き物です。ホタルにとって、水は、ほどほどに汚れているほうがいいのです」という話を聞きました。

⁽³⁾これにはおどろきましたね。「えー、そしたらホタルはまさしく私たちが、生活環境主義として深めたいと思ってました、人と自然の境目にいる生き物ではないか。自然環境保全主義でもないし、近代技術主義でもないし」。ホタルは、まさに人里に住む生き物なのだとわかり、私はホタルにのつてしまつたのです。

まさに、地域環境アトラスの情報を集めるということと、一人ずつが調査するということをセットにしたのが、気象庁のアメダスにちなんで名づけた「ホタルダス」でした。地域住民にホタルに関するイメージを聞くとともに、ホタルの観察データを記録してもらつたのです。このホタルダスと名付けられた調査において⁽⁴⁾「虫の目」と「鳥の目」が本当の意味で出会つたのです。たくさんの人の協力で一年目に五一九カ所の虫の目の調査が可能になり、そのたくさんの虫の目を合わせることで鳥の目の調査が可能になつたのです。

この時の回目の調査報告書には参加者の名前を入れました。ともかくみなさんがいたいた情報を探して、名前を入ってほしい人には名前入りで、報告書をつくりたかつたのです。情報を共有化し、みんながその気になつてくれることが大事だと考えていました。私もかかわったんだという実感、それが、片野さんのいう「データへの愛着」だと思いました。

このホタルダスのアンケートの中で、「あなたは子ども時代にホタルとのどういう思い出がありますか」とも尋ねました。ホタルの調査をするのに思い出を聞く項目を入れました。つまり、ホタルは、ホタル自体が生態学的に重要なだけではなく、人びとの記憶と暮らしの中に、なんらかの意味をもつていたはずだということなのです。これが生活環境主義的発想といえるかもしれません。

当時の琵琶湖研究所の私たちの研究室は、夏はホタルで、冬は雪のデータ（「雪ダス」として雪のデータも集めていました）であふれかえりました。こうして地域環境アトラスをつくつていたら、片野さんがいつっていたように「雪が降るからここは、水がきれいなんやで」ということがわかつたのです。

（嘉田由紀子／古谷桂信「生活環境主義でいこう！」による）

注(1) 長浜市：滋賀県の琵琶湖に面した地方自治体。

注(2) ビワマス：琵琶湖のみに生息する淡水魚。後に登場するゴリも魚の名称。

注(3) アトラス：地図帳。

問一 線部①～③のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 本文中の **A**・**B**に入れるのに適当な言葉を次のなかからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア では イ それに ウ けれども エ だから

国語問題題

(一〇枚のうちの三枚め)

問三 線部(1)のようになつたのはなぜですか。それを説明した次の文の1・2に入れるのに適当な表現をそれぞれ答えなさい。ただし、1は二十字以内、2は二十五字以内とします。

私たちは1のに、2から。

問四 線部(2)の中で生まれたものとして当てはまらないものを本文中の～～線部ア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

問五 線部(3)の指示する内容を答えなさい。

問六 線部(4)とあります。それを説明した次の文の1・2に入れるのに適当な二字の熟語をそれぞれ自分で考えて答えなさい。ただし1と2は対義語です。

「虫の目」とは、一つ一つの1をしつかり見る視点であり、その視点でたくさんのデータを収集して、空から鳥が地上を眺めるように2を見渡そうとする視点が「鳥の目」である。

問七 本文では「データへの愛着」という表現が繰り返し述べられています。「データへの愛着」はなぜ必要だと考えられますか。「水質汚濁の客観的な数値をただ与えられるのとは異なり、データ収集に参加することで」に統く形で、四十五字以内で説明しなさい。

問八 本文の「生活環境主義」について先生と生徒が話し合いをしました。その話し合いの中の1～3に入れるのに適当な言葉をそれぞれ答えなさい。ただし3は本文中から八字で抜き出して答えなさい。

先生 本文に出てくる環境に対する三つの主義について、すこし詳しく考えてみましょう。「近代技術主義」は、科学技術を重視して自然環境に接しようとする考え方です。「自然環境保全主義」は、植物や生き物の保護を重視する考え方で、例えば湿地の希少植物を守るために保護区を設けて人の立ち入りを制限するという場合はこの考え方になります。

生徒1 では、以前習った河川の治水でいえば、コンクリートで川岸や川底を固めてがつちりと堤防を築くというのは1主義の考え方ですか。

先生 そうです。「近代技術主義」も「自然環境保全主義」も、自然を人間社会とは別のシステムとしてとらえて、自然を客観的にみて管理するべきものとしています。西洋から生まれた近代科学のものの見方ですね。筆者の立場である「生活環境主義」はどんなものだと思いますか。

生徒2 生活環境というと、人間の生活環境でもある生き物の生活環境でもある気がします。本文を読むと、「生活環境主義」は、人と自然とを切り離さずにとらえていると思いました。

生徒3 じゃあ、ホタルダスの調査のアンケートで「子ども時代のホタルの思い出」を聞くことにはどんな意味があるのでしょうか。

生徒2 ホタルを保護したいという考えは2主義と似ていますが、本当に継続してホタルを守ろうと思つたら、ホタルが私たちの3でつながり続けていなければならないという考え、それが「生活環境主義」だと思います。住民にアンケートをとることで、愛着や共感を感じてほしいのではないでしょか。

国語問題

(一〇枚のうちの四枚め)

- 二 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

許諾が得られなかつたため、本文は省略しています。

国語問題

(一〇枚のうちの五枚め)

許諾が得られなかつたため、本文は省略しています。

国語問題

(一〇枚のうちの六枚め)

(辻村深月「この夏の星を見る」による)

許諾が得られなかつたため、本文は省略しています。

問一 線部①・②のカタカナを漢字に直し、③の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

ア 騒いでいる イ 勘違いする ウ 驚いている エ 共感する

国語問題題

(一〇枚のうちの七枚め)

問三 線部(1)とあります。この時の亞紗の気持ちとして最も適当なものを次のAから選び、記号で答えなさい。

- A ラジオ番組の大人们に事実を正しく説明する能力があるのかあやしみつつも、気になっていた自分の疑問を解消してくれることを期待する気持ち。

イ ラジオ番組の大人们に自分が質問をしてみた場合を想像し、たとえ答えてもらつても子どもの自分に理解できるだろうかと不安になる気持ち。

ウ 子どもの質問に対して誠実に答えない大人というものに不信感はあるものの、ラジオ番組の大人们がどのように応じるのか興味をもつ気持ち。

エ 子どもの質問に対しても加減な答えを返してきた大人を思い出し、ラジオ番組の大人们も適当な説明でこまかすはずだとあきらめる気持ち。

問四 線部(2)とあります。この時の亞紗の気持ちを説明した次の文の1・2に入れるのに適当な表現をそれぞれ答えなさい。

1 と思つていたが、突然、電話までかかってきたことで、一気に現実味が出て2気持ち。

問五 線部(3)とあります。この後、綿引先生の話に対する亞紗の感じ方が変化していきます。最初の変化がわかる一文を本文中から探し、初めの三字を答えなさい。

問六 線部(4)とあります。亞紗はどのようなことに感動したのですか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問七 本文を読んで表現や内容について生徒が感想を述べています。次の発言のうち、読み取りに誤りを含むものを一つ選び、1~5の数字で答えなさい。

生徒1 亞紗が、知りたいことを本で調べたり、カマキリや友達について気になることを大人に質問したりしているところから、とても探究心のある人物だなと思いました。

生徒2 「子どもみたいな弾んだ声」とか「声がさらに跳ねた」とか、綿引先生の声の様子が細かく表現されていることで、先生が生き生きと話をする姿が、より印象深く感じられます。

生徒3 大人の綿引先生が自分の話に熱中している一方で、子どもの亞紗は「番組の生放送中なのだから」とか「自分が番組の流れを止めるわけにはいかない」とか番組のことを気遣っているところが、立場が逆になつていておもしろいですね。

生徒4 「チガク」という言葉の意味を番組の流れを止めてでも確認するところや、最後の場面で「地学」を「胸に刻むようにして、覚えた」というところから、亞紗にとって綿引先生との出会いが地学に興味をもつ大きなきっかけとなつたことがわかります。

生徒5 亞紗が先生に対して大人のようにはつきりとした受け答えをしていたから、先生も小学生の亞紗に対して対等に接することができたのだろうし、亞紗も自分のために丁寧に説明してもらえて嬉しかったんだと思います。

国語問題題

(一〇枚のうちの八枚め)

三(I)

小学六年生の妹尾さんは、国語の授業で習ったことや自分で調べたことをもとにして、新聞を作成しています。

次の【資料】と【新聞】を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

【資料】授業で習った文章の一部

カタツムリの殻が汚れない秘密は、殻の表面の構造にあります。殻の表面には無数の微細な溝があり、雨どいのように水が流れる構造になっています。ここに水が流れることで、汚れが浮き上がって落ちやすいようになります。(中略)

このようなカタツムリの殻の構造に注目したのは、住宅用の材料をつくっている会社の研究所です。この研究成果は、実際に、外壁用タイル、台所、トイレなどに応用されています。水を流すだけで簡単に汚れが落とせることは、ただ掃除の際に楽で便利だというだけでなく、節水や洗剤の消費を抑えることにもつながります。

ほかにも、カタツムリの独特な移動方法を応用した研究が進んでいます。ロボット開発です。ロボットのなかには、生き物の移動方法を参考にしたもののが数多くあります。たとえばクモ型ロボット、ヘビ型ロボットなどです。このようなロボットは、人間には入ることができない、がれきやぬかるみのある災害現場などで活躍することができます。カタツムリの移動の特徴は、つねにからだ全体を地面に密着させるところにあります。この特徴を応用し、滑りにくいロボットや、壁面にくつつきながら移動するロボットを開発するのです。

(野島智司「カタツムリの謎」による)

【新聞】

国語学習新聞

○生き物 1 学ぶ

—バイオミメティクス（生物模倣）とは—

- ・フクロウの羽の構造をまねた新幹線のパンタグラフ
- ↓ 騒音を抑えることができる
- ・蚊の針の形や動きをまねた注射針
- ↓ 痛みを少なくすることができます
- ・ヘビの動きをまねたロボット

2

●まとめ

バイオミメティクスとは、生き物が持つ構造や機能などをヒントにして、新たな技術の開発やものづくりに生かす科学技術のことです。たとえば、カタツムリの殻の構造は、住宅の外壁に利用されています。

○暮らしの中に発見!

バイオミメティクス

カタツムリの他にも、バイオミメティクスの例はたくさんあります。その中からいくつか紹介してみましょう。

バイオミメティクスについて調べてみると、予想以上にたくさんの具体例があることに驚きました。そしてその中には、すでに実用化されているものもありました。生き物の研究が進めば、さらに便利なものが開発できるかもしれません。身のまわりにはおもしろい生き物がたくさんいるので、私ももっとよく観察してみたいです。

問一 【新聞】の見出しの **1** に入れるのに適当な語を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

アは イに ウと エから

国語問題題

(一〇枚のうちの九枚め)

問二 【新聞】の～～線部「住宅の外壁に利用されています」について、妹尾さんは【資料】をもとに、もう少し説明を加えたいと思っています。その内容として適當でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 表面の溝に水が流れ汚れが浮き上がる仕組みであること。
 イ 装飾の構造は外壁以外に住宅の内部にも使われていること。
 ウ 大量の水を流すだけでよいので掃除が簡単にできること。
 エ 資源や環境に関わる課題を解決する方法の一つとなること。

問三 【新聞】の□2に入れるのに適当な表現を【資料】をもとにして答えなさい。

問四 【新聞】の「まとめ」の部分の一線部⑦～①を「事実」と「意見」に分けた場合、「事実」に当たるもの一つ選び、記号で答えなさい。

(II) 問一 次の①～④のように三字熟語を作るとき、□に当てはまる漢字一字を「無」「未」「非」「不」からそれぞれ選び、書きなさい。

- ① □可能 ② □常識 ③ □解決 ④ □関心

問二 線部の言葉の使い方が正しいものを次の二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私の弟は、石橋をたたいて渡るような慎重な性格で、細かいことを気にしがちです。
 イ 君は初めてピアノを演奏するらしいから、叔父に説法だけしつかり教えてあげるね。
 ウ 父がどれほど話をしても、姉は馬の耳に念仏でこの冬休みにまったく勉強しなかつた。
 エ 情けは人のためならずというから、彼のことを思つてあえて厳しく注意してあげよう。

問三 次の①・②について、□に共通して当てはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① □を疑う □につく □を光らす □が回る
 ② □と油 □に流す □をさす □を向ける

国語解答用紙

(一〇枚のうちの一〇枚め)

受験番号

★次の点に注意して答えなさい。

問い合わせに「三十字以内で答えなさい」というように、字数の指定がある場合には、句読点や記号も一字に数えて解答すること。

II		I			問七	問六	問五	問四		問二	問一	①	②	③	④	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十
問二	問一	問四	問三	問一				2	1														
問二	問一	問四	問三	問一													合計	三 二 一 ^(II) 四 三 二 ^(I) 七 六 五 四 三 二 一	八 七 六 五 四 三 二 一				
問三	問四	問五	問六	問七	生徒	生徒	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄			
問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄			
問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄				
問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄					
問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄						
問五	問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄							
問六	問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄								
問七	問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄									
問八	問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄										
問九	問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄											
問十	問一	問二	問三	問四	問五	問六	問七	問八	問九	問十	得点欄												